



秋の行楽シーズンを迎え、山へハイキングなどに出かける方も多いと思います。しかし、注意しなければいけないのが「ハチ刺され」です。被害を及ぼすハチはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ等ですが、ハチの種類によって被害が多い季節が異なります。アシナガバチは7～8月、スズメバチは7～10月、ミツバチは一年中です。中でも、スズメバチの殺傷力は強力です。厚生労働省の人口動態統計によると、近年では全国で毎年20～30人が亡くなっています。



【ハチ刺されによる症状】

ハチ刺されからショック症状に陥る事は稀なので、ほとんどの場合、緊急性はありません。ハチに刺された時の症状は、刺された部位に生じる局所症状と全身症状の2つに分けられます。初めてハチに刺された人は、刺された部位に痛みを伴って発赤を生じる程度ですが、**回を重ねるごとに発赤、腫脹が強くなり**、一部の人（0.02～4%）では、下記のような**アナフィラキシー**と呼ばれる全身症状が起こる可能性があります。（**2回目以降ハチに刺された人は要注意です**）

●強い症状（重篤症状）

呼吸困難、血圧低下、意識が遠のく寸前、激しい動悸、息苦しい、口から泡を吹く、手足のしびれ、唇の血の気が引く、脱力感、耳が聞こえない、目が見えなくなる。

●中度の症状

のどが詰まった感じ、息苦しい、のどが渇く、のどがしびれる感じ、腹痛、下痢、吐き気、嘔吐頭痛、目まい、痰がからみ息を吸うとゼイゼイする、全身のむくみ

●軽い症状

吐き気、発汗、目まい、全身の蕁麻疹、全身のふるえ

【処置・治療】

- ・刺された部分に対し、**決して口で吸いださないようにする！**
- ・刺された場所から離れ、木陰や冷たい水の流れている沢の近くに避難し、刺された部分をきれいな水で洗い、冷やす。
- ・刺された部分より体の中心側を間欠的に駆血する。（紐などで縛り、数分おきに緩める）
- ・直ちに医療機関を受診する。



【対処法】

- ・家の天井裏などにハチの巣を作らせない。もし、作られたら小さいうちに専門の業者に依頼し取り除く。
- ・屋外でジュースなどの甘いものを飲食しない。残りの缶ジュースを放置しない。
- ・洗濯物を取りこむときに注意する。
- ・家の中や車の中にハチが入ってきたら、明るい方の窓を開け、出て行くのを待つ。
- ・ハチの巣のそばで激しく動いたり、大声を出さない。
- ・目を閉じて顔を下向きにし、静止する。ハチが巣へ戻ったのを確認後、静かに後退する。地表すれすれに飛びまわるハチの場合は反対方向に後退する。（ハチは横の動きに反応しやすいので、手で払いのける動作をなるべくしないようにする）
- ・一旦、ハチの攻撃を受けると、攻撃に参加するハチが次第に増えてくるので、一刻も早く現場から離れる。
- ・スプレー式殺虫剤がある時は、ハチに向けて噴射すると効果あり。
- ・服装は肌を露出するものを避け、黒色のものではなく、明るい色の服を着る。また、つばの広い帽子などを被り、頭の露出を避ける。（スズメバチは服だけでなく、黒い長靴やカメラ等にも攻撃します。）
- ・ヘアースプレー、ヘアトニック、香水等の匂いはハチを刺激するので注意する。
- ・ハチは死んでからでも24時間以内に触れると毒針で刺される可能性がある。また、腹部だけでも毒があるので注意する。